

REPORT

香川大学 D&I フェスタ 2022 開催

2021年10月、「D&I推進宣言」を行い、2022年6月には、「D&Iに関する全学調査Vol.1」を実施しました。その結果を踏まえ、D&Iをさらに推進するため、関連部局・センター等と連携し、宣言をした10月を中心に全構成員(学生・教職員)を対象としたイベント「香川大学D&Iフェスタ2022」を開催しました。今年度のテーマは「性の多様性(SOGI)」です。



D&I セミナー Part1

性をめぐる多様なあり方(SOGI)を知る —誰もが学びやすいキャンパスをめざして—

ハイブリッド
開催



谷氏、福井氏(左から)

10月19日(水)、多目的ホール(幸町キャンパス・オリーブスクエア2F)にて、性の多様性(SOGI)をテーマとしたD&IセミナーPart1を開催しました。

セミナーでは、まず算善行学長から開会の挨拶が述べられ、第1部の講演では、あしたプロジェクト代表の谷昂頼氏、副代表の福井瑞穂氏より、「性をめぐる多様なあり方(SOGI)を知る」をテーマに、ご自身の経験などを交えながら、性の多様性について詳

しくお話をいただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、藤本智子氏(弁護士、ダイバーシティ推進担当理事)がコーディネーターとなり、坂井聡氏(バリアフリー支援室長、教育学部教授)、山本菜帆氏(農学研究科修士1年)、諏訪稜央氏(教育学部4年)が登壇し、「誰もが学びやすいキャンパスをめざして」をテーマに活発な議論が行われました。



藤本氏、山本氏、諏訪氏、坂井氏(左から)

アンケートより

- ◎ご自身の体験を通じて現代社会に必要な視点を講演いただき、非常に説得力があった
- ◎みんなが“参加できる”社会になるように、少しずつでも意識して行動も変えていけたらと思った

D&I セミナー Part2

性の多様性を認め合う大学に向けて —支援の現場で—

ハイブリッド
開催



中塚氏

11月2日(水)、多目的ホール(幸町キャンパス・オリーブスクエア2F)にて、Part1に引き続き、性の多様性をテーマにセミナーPart2を開催しました。

セミナーでは、まず算善行学長から開会の挨拶が述べられ、中塚幹也氏(岡山大学学術研究院保健学域教授、岡山大学病院ジェンダークリニック医師、GID(性同一性

障害)学会理事長)より、「性の多様性」に関する基本事項、性別違和の悩みをもつ人のための岡山大学病院ジェンダークリニックでの取組、「性の多様性」と制服・服装、公共トイレについて、これまでの具体的な活動や報道事例などを交えながら、詳しくお話をいただきました。

アンケートより

- ◎最近よく目にする言葉(性の多様性)ではあるが、改めて言葉の意味を認識・理解することができた
- ◎トイレについて様々な視点での捉え方が興味深かった
- ◎(セミナーをきっかけに)ここから、それぞれが考えていくセミナーだった



会場の様子



D&I トーク (メタバース)

10月15日(土)、香川大学D&Iフェスタ2022のイベント第1弾として、D&Iをテーマとした4つのルーム(右表参照)に分かれ、メタバース(仮想空間)で開催しました。

アンケートより

- ◎自由に話ができるのが楽しくて、時間があっという間だった
- ◎気になっていた点を質問でき、今後のアドバイスをいただけて、とてもよかった



メタバース (仮想空間) 会場の様子

ルーム	テーマ	担当	話題提供者
1	「大学を楽しむために -自分の特性に気づく」	バリアフリー 支援室	坂井聡先生 (バリアフリー支援室長・教育学部教授) 大沼泰枝先生(学生支援センター講師・ 臨床心理士・公認心理師)
2	「異文化を知ろう」	インターナショナル オフィス	滝川祐子先生 (インターナショナルオフィス非常勤教員) 和田健司先生 (副インターナショナルオフィス長・医学部教授)
3	「性感染症のいま」	ダイバーシティ 推進室	塩田敦子先生 (医学部教授) 清水裕子先生 (ダイバーシティ推進 室副室長・医学部教授)
4	「センターにおける 相談案内と簡単な セルフケア技法について」	保健管理センター	大塚美菜子先生 (保健管理センター講師・臨床 心理士・公認心理師)

D&I ランチトーク トーク1・2

「D&Iスペース」のお披露目を兼ねて、昼休みに少人数で気楽に話ができるD&Iランチトークを実施しました。

トーク1は、10月25日(火)に、教職員対象に「ワークライフバランス」をテーマとして、篠原正行氏(企画総務部次長)に話題提供をお願いしました。トーク2は、11月17日(木)に、学生対象に「性的同意」をテーマとして、平野美紀氏(法学部教授)にミニレクチャー&コーディネートをしていただきました。



D&I デジタルスタンプラリー

キャンパスのD&I関連スポットを巡って、5ポイントを集めると、D&Iオリジナルエコバッグをプレゼントするという、デジタルスタンプラリーを開催しました。

ロゴやバッグのデザインは、創造工学部の学生が、アプリの開発は、創発科学研究科の学生が担当してくれました。学内でこのバッグを使用してくれる人が増えて、D&Iへの関心が高まることを期待しています。



D&Iフェスタ 関連イベント バリアフリー支援室

車椅子講習会

フェスタ期間中、7回の車椅子講習会を開催しました。



D&Iフェスタ 関連イベント インターナショナルオフィス

グローバル・カフェイベント

10月17日(月)に本学の留学生によるマレーシア&台湾イベント、10月25日(火)にインドに駐在経験のある石原淳也特命教授によるインドイベントを開催しました。



REPORT

学生×D&I

2022年度は、第1クォーターに、D&Iを学ぶ機会として全学共通科目に「D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)入門」を新規開講した他、2021年度に引き続き「多様なキャリアを考えるー男女共同参画の視点から」を開講しました。また、2022年12月から学生で構成されている「D&Iキャンパスプロジェクト」がスタートしています。

D&I 入門 (第1クォーター 木曜1時限目)

この講義では、学内外の教員によるオムニバス形式によって、ジェンダー、障害、多文化共生、性の多様性、大学、企業などの幅広い視点からD&Iについて学びます。

回	講義日	授業タイトルと内容	担当講師	所属
1	4/14 (木)	オリエンテーション	柴田潤子 黒澤あずさ	ダイバーシティ推進室 室長 ダイバーシティ推進室 特命講師・コーディネーター
2	4/21 (木)	多文化共生を考える	植村友香子先生	地域・産学官連携戦略室特命准教授<グローバル担当>
3	4/28 (木)	障害を考える	坂井聡先生	教育学部教授、バリアフリー支援室長
4	5/2(月)	ユニバーサルデザインを考える	中島美登子先生	創造工学部准教授
5	5/12 (木)	ジェンダーを考える	園部裕子先生	経済学部教授
6	5/19 (木)	見えない生きづらさを考える	長谷綾子先生	医学部臨床心理学科講師
7	5/26 (木)	性の多様性を考える	葛西真記子先生	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授
8	6/2 (木)	ダイバーシティマネジメントを考える	吉澤康代先生	地域マネジメント研究科准教授

「多様なキャリアを考えるー男女共同参画の視点から」 (第1クォーター 木曜5時限目)

「男女共同参画」を基軸とした価値観をキャリア・ライフデザインにどのように位置づけていくかを考えるための講義を提供します。多様な分野で活躍している主に実務家によるオムニバス形式によって、講義を構成しています。

回	講義日	授業タイトルと内容	担当講師	所属
1	4/14 (木)	「男女共同参画推進社会について総論 ～どんな個人も尊重して生きられる社会を目指して」	永田真一先生	外務省在ジュネーブ国際機関日本政府代表部
2	4/21 (木)	「ジェンダーの視点で考える『社会』と『法』」	佐藤倫子先生	香川県弁護士会
3	4/28 (木)	「誰もが生き生きと働くために ～男女共同参画の視点から働き方考える」	佐藤真理子先生	香川労働局雇用環境・均等室長
4	5/2(月)	「議会：意思決定の場に多様性を」	太田あゆみ先生	高松市議会議員
5	5/12 (木)	「体験しよう裁判員、聞いてみよう経験談 ～18歳以上のあなたも選ばれます～」	坂井唯弥先生 柏木悠香先生	高松地方裁判所刑事部裁判官 高松地方裁判所刑事部裁判官 裁判員経験者
6	5/19 (木)	「裁判所における女性の活躍」	村瀬かおる先生 瀬戸サユリ先生	高松地方裁判所総務課長 高松地方裁判所民事訟廷管理官
7	5/26 (木)	「子育て家庭の現状と課題、必要な支援とは」	中橋恵美子先生	NPO法人わははネット理事長
8	6/2 (木)	「働きながら健康を考える」	水重克文先生	四国電力株式会社産業医 前国立病院機構高松医療センター院長

D&I キャンパスプロジェクト

様々なバックグラウンドを有する学生が安心・安全に学び、研究できる環境整備をめざして、D&Iの視点から、香川大学の学生支援や施設のあり方などを調査・検証・提案する学生によるプロジェクトが、スタートしました。

メンバーは、学部生から大学院生まで幅広く、専攻や関心もさまざま。昼休み時にD&Iスペース(幸町キャンパス北5号館1階)に集まり、意見交換を行っています。オンラインでの参加も可能です。メンバーは随時募集しているので、関心のある方は気軽に声をかけてください。



女性研究者支援

平成30年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に「四国発信!ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト」(代表機関:徳島大学、共同実施機関:香川大学、愛媛大学、高知大学、鳴門教育大学、徳島県立工業技術センター、徳島県立農林水産総合技術支援センター、アオイ電子株式会社、協和株式会社)が採択され、本学では、共同研究支援、研究補助者配置など様々な女性研究者支援を行っています。

創造工学部 上村忍教授が、 「2022年度ダイバーシティ推進共同研究表彰」を受賞

平成30年度採択文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」により実施したダイバーシティ推進共同研究表彰制度において、創造工学部上村忍教授が、「2022年度ダイバーシティ推進共同研究表彰」を受賞され、表彰式が、2月21日(火)、創造工学部学部長室にて行われました。



創造工学部 上村忍教授



表彰式の様子
右から、柴田ダイバーシティ推進室長、
上村教授、末永創造工学部長、黒澤特命講師

研究テーマ
バリア能を有するナノシート-高分子ハイブリッド薄膜の開発

※「ダイバーシティ推進共同研究表彰」制度とは、ダイバーシティ推進共同研究支援制度を利用し、四国地域全体の女性研究者の研究力強化に特に貢献した女性研究者を顕彰し、優れた研究成果の持続的創出と女性研究者のさらなる活躍をはかることを目的として表彰するものです。

研究力伸長セミナー 徳島大学・香川大学 連携★統計セミナー Part2 中級編

9月29日(木)、「2022年度研究力伸長セミナー 統計セミナー・Part2」をオンライン配信で開催しました。本セミナーは、平成30年度採択文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」において実施すべき女性研究者の研究力向上を図るための取り組みに基づいて実施される事業であり、女性研究者(若手研究者・大学院生等を含む)が、自らの研究において必要な統計解析についての知識を高めスキルを向上させることができるよう支援することを目的として開催したものです。徳島大学と連携して、Part1初級編を徳島大学主催、Part2中級編を本学主催にて実施しました。初級編に続いて学内外からの参加者も多く、84名の申込がありました。講師の大阪公立大学大学院 医学研究科 医療統計学教室教授 新谷歩氏から、研究者が陥りやすい統計解析上の留意点について、具体的な観察研究例を示しながらお話をいただき、後半は実際に無料統計ソフトEZRを用いてデータの統計解析を行っていただきました。



香川大学女性研究者の会

部局を超えて女性研究者が交流し、女性研究者の研究教育活動環境向上のための全学横断的な支援を考える場として昨年スタートした女性研究者の会。2022年度は、6月1日・3日(水・金)に「女性研究者研究活動支援について」、9月29日(木)に「研究とプライベートライフの両立」をテーマに開催しました。

国際学術雑誌論文投稿費・ 英文校閲費支援

女性リーダーの育成を目的として、女性研究者が研究成果を国際的な学術論文として発表するための外国語論文投稿費用ならびに英文校閲費用を補助しています。本補助採択者の国際的な評価となる研究業績を向上させるなど、研究者としての成長とスキルアップを期待し実施するものです。2022年度は、論文投稿4件、英文校閲6件の支援をしました。

REPORT

ワーク・ライフ・バランス支援

01 研究補助者配置制度

研究補助者配置制度は、研究者が育児・介護等を理由に研究を断念することなく、研究と育児・介護等とを両立させつつ、優れた研究を推進することができる環境をつくる目的で行っている制度です。2022年度は、10名の女性および男性研究者にご利用いただきました。

02 入学試験における休日出勤時の学内託児

入学試験における休日出勤時の教職員の負担軽減にむけて、3ヵ月から小学校6年生までの託児を無料で実施しています。2022年度は、11月19日(土)の推薦入試と1月14・15日(土・日)の大学入学共通テストの3日間にわたって託児をし、延べ8人のお子さんの受け入れをしました。

03 ベビーシッターの利用費補助制度

内閣府（公益社団法人全国保育サービス協会に委託）が実施する「ベビーシッター派遣事業」により、「ベビーシッター派遣事業割引券」を利用できる制度の他、ベビーシッター等で利用できる育児補助金制度「ベネフィット・ステーション」があります。

04 介護セミナー：認知症をサポートする

2月22日(水)、「介護セミナー」をオンライン配信で開催しました。本セミナーは、本学教育学部との共催で実施しました。

高松市より、地域包括支援センター地域支援係 森永智光氏、ファーマシー薬局たかまつ 岡村リナ氏をお招きし、ご講演いただきました。DVDを用いて認知症の方への

望ましい対応事例を視聴した他、認知症の主な症状・予防策、高松市の取り組み、受診・相談窓口などを情報提供いただきました。また、若年性認知症に関すること、認知症の方と家族への支援などについてもお話しいただきました。



左から森永氏、岡村氏

アンケートより

- ◎認知症の方との接し方や対応例について知ることができ、実際に出会った時にどうすればいいのかを考える機会になった
- ◎認知症の人と接する時は、ただ事実や正解を伝えるのではなく、相手を受け入れて肯定することが大切だと思った

05 香川大学 出産・育児・介護支援ガイド

2017年度に作成した「香川大学 出産・育児・介護支援ガイド」を5年ぶりに改訂しました。当室のHPからダウンロードができます。



06 定時にかえろう!

香川大学では、男女共同参画推進の基本方針に基づき、教職員が教育・研究等と育児・介護等を両立させていくために、下記の事項に配慮をしています。

1. 育児・介護等に取り組む教職員が参加する会議は**夕方 17:15以降**、できるだけ開催しないこと。
2. 育児・介護等に取り組む教職員より申し出があった場合には、教育・研究活動以外の業務負担の軽減に努めること。
3. 育児・介護等に取り組む教職員がやむを得ない事情により会議の欠席・早退・遅刻、業務の代替等を求める場合にはできる限りの配慮を行うこと。（授業・会議の時間帯調整、代理出席の配慮、出席を強制しないなど）

地域との連携

01 未来をつくるリケジョフェスタ in かがわ

8月21日(日)、香川県主催「未来をつくるリケジョフェスタ in かがわ」(本学後援)が開催されました。このイベントは、科学技術・学術分野における男女共同参画を推進するため、女子中高生を対象に、理工系分野の進路選択や理工系職業への興味や関心、理解を高めることを目的として開催されたものです。コロナ感染拡大のため、昨年度は中止、昨年度は一部実施となったフェスタでしたが、今年度は、メタバース

(仮想空間)を活用したオンラインでの開催となり、69名の参加がありました。

香川で活躍する女性研究者・技術者によるロールモデル紹介では、本学創造工学部の上村忍教授が、自身の進路選択や、研究の内容について話をされました。

参加者からは“工学系をめざしたきっかけ”や“理系に進むのに必要な学び”など、さまざまな質問が出ていました。



02 第13回中国四国男女共同参画シンポジウム

11月30日(水)、第13回中国四国男女共同参画シンポジウムを開催しました。本シンポジウムは、中国・四国地区の10国立大学が連携して毎年開催しているもので、今年度は本学が当番校となって実施しました。テーマは、「多様なキャリア志向をめざして一誰もが活躍できる社会を考える」。全国各地から90名の申込がありました。

基調講演では、東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 副機構長・教授 横山広美氏に「理系に女性はなぜ少

ないのかー女子学生の理系選択と社会的要因」をテーマとして、先生のご研究をベースにお話をいただきました。

続くパネルディスカッションでは、中国・四国地区の10大学の方々にご登壇をいただき、①女子中高生へのキャリア支援ー理系分野を中心として、②女子学生支援ー研究者へのキャリアを拓くには、③多様なキャリア志向をめざしてー女性研究者支援の鍵の3つのテーマで、各大学から取組事例の発表後、意見交換を行いました。



03 ダイバーシティ推進研究交流発表会オンライン2022

3月25日(土)、四国発信!ダイバーシティ推進研究環境調和推進プロジェクト「ダイバーシティ推進研究交流発表会オンライン2022」を、今年度は、本学が当番校となって実施しました。本発表会は、平成30年度採択文部科学省科学技術人材育成補助金事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」事業のひとつとして、研究交流並びに相互啓発による研究力向上や共同研究の推進を目的に四国ダイバーシティ推進委員会が毎年開催しているものです。本学からは、ダイバーシティ推進共同研究プロジェクトに採択された研究についての発表2件と、メタバースを活用したポスター展示による発表が3件ありました。

研究発表

野村美加	農学部教授	マメ科植物を利用した瀬戸内海海洋共生窒素固定微生物のスクリーニング
倉原 琳	医学部准教授	凝固系を標的とする炎症性腸疾患治療薬の開発

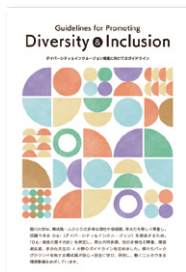
ポスター展示

市原多香子	医学部准教授	勤労者のサルコペニア予防における筋肉量減少に影響するライフスタイルの特定
上村 忍	創造工学部教授	バリア能を有するナノシート-高分子ハイブリッド薄膜の開発
高木由美子	教育学部教授	環境にやさしい新液体をつかうSDGs教育教材の開発



D&I 推進に向けてのガイドライン

様々なバックグラウンドを有する構成員が安心・安全に学び、研究し、働くことのできる環境整備をめざし、男女共同参画、性の多様性の尊重、障害者支援、多文化共生の4分野に関する「D&I推進に向けてのガイドライン」を2023年3月に策定しました。詳細はHPでご覧いただけます。また、リーフレットを作成し各局に配布している他、ダウンロードも可能です。



D&I スペース

幸町キャンパス北5号館1階、ダイバーシティ推進室とバリアフリー支援室の間に2022年10月、D&Iスペースを開設しました。D&Iについてちょっと話をしたい、学習会を開きたいといったことに使えるスペースです。ここでは、D&Iに関する資料や書籍を自由にご覧いただけます。ご利用の際は、事前に当室までお声がけください。



✧ 香川大学男女共同参画推進室10年の活動と地域連携

香川大学が香川県内唯一の国立大学として、男女共同参画推進室の10年を通して、地域と連携して実施した成果・課題を明らかにし、次のダイバーシティ推進体制機能のエビデンスを示した「香川大学男女共同参画推進室10年の活動と地域連携」が、『香川大学地域人材共創センター研究報告』に掲載されました。執筆者は、柴田室長、清水副室長、小方副室長、黒澤コーディネーターの4名です。ぜひご一読ください。



✧ HP&インスタグラムを開設しました！

ダイバーシティ推進室の設置に合わせ、当室のホームページを新規に開設しました。D&Iに関する情報を、学内外のみなさまに向けて発信し、内容の充実したサイトづくりを目指しています。また、インスタグラムを活用した情報発信も行っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



✧ 生理用品の配布について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響など様々な理由で生理用品の入手がしづらい状況にある香川大学の女子学生を支援したいと高松市や個人の方からご寄付をいただきました。幸町キャンパス大学会館1階の女子トイレ内に生理用品を置いてありますので、必要な方はご自由にお持ちください。また、当室でも配布をしていますので、お気軽にご利用ください。

✧ ご活用ください！

サーマルカメラ（設置型体温計）、オートディスペンサー消毒用セット、非接触型体温計の貸し出しを行っています。学内イベント等にご利用の方は、当室までお問い合わせください。

相談窓口について

D&I相談窓口は、香川大学に通う学生のみならず、働く教職員のみならずが利用できる窓口です。ここでは、本学のD&Iに関わる制度や仕組みについてのご相談をお受けします。どこに相談したらよいかわからない場合のご相談もお受けし、“コンシェルジュ”的な役割も担います。この窓口の他に、様々な相談窓口が学内外にありますので、そちらも併せてご利用ください。



編集・発行



香川大学
ダイバーシティ推進室

〒760-8521
香川県高松市幸町 1-1
幸町キャンパス北5号館 1階
電話：087-832-1055（内線：1055）
FAX：087-832-1057
MAIL：diversity-i-h@kagawa-u.ac.jp
URL：https://www.kagawa-u.ac.jp/diversity/